

厚生労働事務官（基準）

森 事務官

令和5年4月 任官



厚生労働事務官（基準）を志望した理由は？

私は大学時代、塾講師のアルバイトをしており、人と接することが好きだと感じていたので、当初は窓口業務の多い共通採用の事務官を選択しようと思っていました。

ですが、国家一般職試験後に開催された京都労働局の説明会で、基準採用の事務官と話す機会があり、その方がとても素敵で尊敬できる方だと思い、是非同じ職場で勤務したいと感じたため、基準採用の事務官を志望しました。

フィーリングで決めてしまった感がありますが、実際に勤務してみると、自分に合った仕事を選ぶことができたと感じています。

京都労働局を志望した理由は？

いくつかの近畿圏内の労働局の業務説明会に参加しましたが、職員の方々の雰囲気自分に合っていると感じた京都労働局を志望しました。実家の滋賀県からもとても通いやすいです。

職場の雰囲気はいかがですか？

気軽に話しやすく相談しやすい雰囲気があるので、職場の雰囲気は良いと思います。私の周りの上司や先輩、同期など、皆さん尊敬できる方たちだと思っているので、一緒に勤務することができるのが嬉しいです。

特に同期とはとても仲が良く、気軽に喋りながら昼食をとるのが毎日の楽しみです。

また、直属の上司はもちろん、他課の上司やさらに上席の上司も事案の相談に乗ってくれたりなど、面倒を見てくださるのでとても有難く感じています。

印象に残ったことがあれば教えてください

労災により重度の障害が残ってしまった方の障害補償給付の審査を担当したことがあったのですが、ケガをしたご本人やご家族が将来への不安を感じ、大変そうにしているのを直に感じていたので、早く審査を終え結果を伝えて安心させてあげたいと思っていました。

その後審査を終え、結果を伝えることができ、その方から感謝された時の嬉しさと達成感印象に残っています。

仕事をする上で心がけていることはありますか？

まだまだ知らないこと、わからないことが多くありますが、とにかく一旦は自分で調べて、自分なりの考えを持つように心がけています。そして自分なりに考えた意見を上司に伝え、アドバイスをもらっています。

特に厚生労働事務官（基準）の仕事は「考える」ことが必須だと思いますので、この心がけにより日々研鑽を重ねています。

受験生へメッセージをお願いします！

厚生労働事務官（基準）は、初年度から自分の裁量で仕事をするので、他の業種では中々ないものだと思います。

一方、その分計画性が必要になる職柄ではありますが、上司や周りの職員が気にかけてサポートしてくださるので、不安に思うことはありません。「自分で調査を行い、完結まで進めていく」というのが基本的な業務の流れになるので、完結させたときの達成感が大きい仕事です。

京都労働局と一緒に働くことを楽しみにしています！